



あけましておめでとうございます

令和になって初めての新年を迎えました。皆様、ご家族揃って希望の年を迎えられたことと思います。新年を迎えるたびに気持ちが引き締まります。昔から、『一年の計は元旦にあり、一日の計は晨にあり』と言われていますが、毎年、昨年の反省の上に立って、今年一年の努力目標を決めますが、皆さんはどんな目標を決めましたか？今年も、新たな目標のもと、新たな気持ちでスタートを切られたことと思います。

私は、長期の休みに入る前には、必ず、子どもたちと約束をしています。今回も、冬休みに入る前にも、子どもたちと4つの約束をしました。

- ① 事故に遭わないよう、自分の命は自分で守ろう。
- ② 年少さんと言えども、お家のお手伝いをしよう。
- ③ 長い休みですから、必ず(絵)本を一冊は読もう。
- ④ 風邪や食べ過ぎに注意し始園式には元気に会おう。

始園式の折に、子どもたちに尋ねてみると、①と④の約束については、よく守っていました。当日、2~3名の子どもたちが、風邪で休んでいましたが、ほとんど全員、病気もせず、元気に登園してきたので、職員一同、安堵したところです。健康が何よりです。

②の手伝いについては、年少や年中さんは、半数程度の方が、手伝いができたと言って手を挙げていました。特に、自分が食べ終えた後の茶碗や遊んだ後のおもちゃの片づけが多かったようです。しかし、年長さんになると、自分の部屋の掃除やお使いなどができたようです。

また、掃除機を使って掃除をしたり、洗濯機で洗濯をしたりした子どもがいたのでびっくりしました。掃除機については、一人ではなく、僕も、私もできたよと複数の方が言っていたので、子どもたちの背丈ほどもある掃除機を、よく使えたものだと感心しました。③の本については、年少さん年中さんは、さすがに、絵本が多かったようですが、年長さんともなると絵本もさることながら図鑑を見た友達もかなりいました。皆、大変よくできました。休みが明けた園庭では、寒さに負けず、子どもたちの元気な声が響いています。



七草がゆに舌鼓



季節に応じた食を味わいながら食の持つ意味を知らせるという目的で、10日(金)に、恒例の七草がゆを子どもたちに提供しました。

事前に、担任が、七草の絵図を提示して、身近にある野草や野菜であることや七草を食べる意味について指導していました。子どもたちも、「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ」



の七草を調子よく覚えていました。

保護者の皆さんもかつて、リズムカルに唱えて覚えていたことを思い出すことでしょう。

そして、子どもたちは、七草がゆを

「美味しい、美味しい」と言って食べたということでした。先生の指導一つで、子どもたちは違ったとらえ方をします。ご家庭でも、季節に応じた行事や食べ物、その時その時の出来事などを話題として、お子さんとの会話を楽しんでください。

預かり保育の増員を検討中

現在、本園では、保育期間中の預かり保育の定員を、担当者が1名しかいないために、15名としています。

年々、女性の社会参画が増えてきましたので、預かり保育を希望される方も増えてきました。長期休業中には、複数で対応できましたから15名以上を受け入れてきた経緯があります。

女性の社会参画が当たり前の社会になってくると、預かり保育のニーズは、ますます高くなるのが容易に予想されます。また、保護者の中には、緊急な事態が生じる場合もあります。こうした場合、定数オーバーだからと言って、預かり保育を断るわけにはいきません。

こうした現状を踏まえまして、来年度から定数を30名にできるように、担当者の増員について学園本部と前向きに検討をしているところです。本部からの回答次第では、年度内に実現できる可能性があります。その際は、受付申請書や就労証明書の内容を見直し、希望される方には、再提出を求めることになると思います。決定次第、詳細な説明プリントを配付しますので、よくご覧になってください。